

## 平成 31 年度推薦入試歴史学科英語試験

### 【出題意図】 出題意図

英語の文章の読解を通じ、歴史学を学ぶ中で必要となる基礎的な理解力、思考力、表現力が備わっているかどうかを総合的に判断する。本学科の推薦入試における英語では、英和辞書を持ち込み可としており、単語を暗記しているかどうかで得点差がつくようにはしていない。むしろ、単語に関する条件は受験生が同一となるために、文法構造に対する理解や、文章全体の流れを把握する基礎的な能力が問われることになる。個々の単語の意味に関していえば、本文全体に即したふさわしい単語の意味を選択し、それらを適切な日本語の文章に表現できるかが問われる。また、歴史に関わる文章を出題しており、高校時に学んだ歴史に関する知識と合わせて思考することで、より良い表現が可能となる。

### 【配点】

(1) 50 点、(2) 50 点

### 【解答例】

(1)

古代世界においては、長い歳月にわたって、王朝の交代があったし、また支配民族や言語の変化すらあったが、しかし、君主や神殿による統治の形態はかなり安定していたし、さらにもっと安定していたのは日常の生活方法であった。16 世紀以降のこの近代ヨーロッパでは、王朝の交代はたいした問題ではない。そして歴史学の関心は、政治組織や社会組織における広範で、ますます多様になっていくもろもろの試みにある。16 世紀以降の世界の政治史とは、前述のように、その政治や社会の方法を新たに生じたいくつかの新しい条件に適應させようとする人類の努力であった。その適應させる努力は、条件自体がつねに加速しつつ変化しているという事実によって難しくさせられたのであった。

(2)

中国からキャフタを經由してロシアにもたらされた最初の品はレンガ茶(たん茶)であった。レンガ茶と呼ばれたのは、輸送と保存に便利のように茶葉を一定サイズのレンガ状に固めていたためである。より高品位の固めていないバラバラの茶葉は 19 世紀初頭になって初めて需要が起こった。緑茶が主要輸入品であり、紅茶(黒茶も可。発酵茶の類)がそれに次いだ。ロシアが中国南岸の海洋ルートではなく、キャフタ經由の北部陸上ルートによって茶を得ていた事実は、茶を示すロシア語「チャイ」にもあらわれている。多くの西洋言語(英語、フランス語、ドイツ語)では、茶の漢字の南部発音である「テ」に基づいてこの飲料の名前が生み出された。それに対して、ロシア語のチャイは中国人や朝鮮人、日本人が使う北部発音の「チャ」に由来している。